

港区立青山小学校
令和6年度 3年生授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>① 第3学年に担当される漢字や語彙正しく読み書きし、文章の中で使うとともに言葉の意味を正しく理解して語彙を豊かにする。</p> <p>② 伝えたい事柄の要点をおさえ、適切な言葉で伝えられるようにする。</p> <p>③ 文章の内容と経験を結び付けて感想をもったり、様子を表す言葉に着目して行動を具体的に想像し表現したりする。</p>	<p>① 漢字の定着が著しく悪い。既習の漢字を使って文章を書く意識が低い。</p> <p>② 話の中心を整理しながら、伝えることが苦手である。また、語彙も少なく、気持ちや様子を適切に伝えることが難しい。</p> <p>③ 一つの言葉から想像力を膨らませて考えたり、自分の経験と結び付けて考えたりする力が弱い。考えたことを適切な言葉を用いて伝えることが苦手な児童がいる。また、文章を読んで自分が思ったことや感じたことを具体的に表現する力が弱い。</p>	<p>① 漢字ドリル・らくらくノートを活用して学習内容の定着率を確認する。確認テストを定期的に行う。また、定着率が低い場合は、担任と共に書き取りの練習を行う。</p> <p>② ペアやグループ、全体などで話し合う機会を作り、伝えたいことを簡潔に話す場を設定する。</p> <p>③ 叙述に着目しながら読み、言葉の意味を丁寧に説明することで想像力を膨らませることができるようになる。また、思ったことや考えたことを文章に書いてから伝えるようにすることで、自信をもって表現できるようになる。</p>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<p>① 資料を正確に読み取る。</p>	<p>① 資料の読み取りが苦手な児童が多い。</p>	<p>① 教科書や地図帳の資料から分かることを言葉で表したり、比較して気付いたことを共有したりする活動を繰り返す。</p>

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<p>① 数と計算において正確に計算する能力を身に付ける。</p>	<p>① 計算の正確性に欠ける。具体物ではなく、抽象的な計算のみだと、問題の意味や式自体の意味を理解するのが難しい。</p>	<p>① 計算の練習の場を増やす。立式をする場面では、具体物等を用意しながら、段階を踏んで抽象的な理解へつなぐ。</p>

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 実験から分かったことを分析する力を身に付ける。	① 実験結果を基に考察したことを言葉で表すことが苦手な児童が多い。	① 考察する際に、「実験で変えたこと」、「どのように変えたか」、「結果の様子」の3点を1つずつ確かめて考察することを繰り返し行う。

体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 自ら課題を見付け、学習する力を身に付ける。	① 課題意識が低く、目的や意図をもって学習することが難しい。	① 課題に気付くことができるように、グループで見合ったり、教え合ったりする活動を取り入れる。また、タブレットを用いて動画を撮影し、自分の動きを客観的に振り返ることができるようにする。

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 外国語の表現に関心をもち、楽しくコミュニケーションをとろうとする。	① 活動に楽しく参加できる児童も多いが、粘り強く繰り返す行う力が弱い。また、外国語を使い交流することへの抵抗感が強い。	① 同じ表現を楽しい活動で繰り返し発音したり体を動かしながら練習したりすることで自信をもって表現できるようにする。必然性のある外国語の学びが大切であり、今後活用できるように各単元の最終ゴールを決めて繰り返し練習する。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 多様な価値を認めるとともに、自分の生活を振り返り、日常生活に生かしていこうとする。	① 他者の考えを認めず、自己中心的な場面が多い。また、授業内で話し合ったことや考えたことを日常に当てはまるのが難しい。	① 場面を想像し、自分事として捉えられるよう、課題の提示を工夫する。議論することで自分の考えとの相違点に気づき、様々な考えがある中でどのように生活していけばよいのかを考える場面を設ける。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 学級を自分たちでよりよくしていこうとするための具体的な取組を話し合って決める。	① 話し合いの中で他者の意見を受け入れられず、折り合いをつけることができない。自分の思いを優先してしまい、全体のことを考えて動くことが難しい児童がいる。	① 学級で取り組む活動について話し合い、実践して振り返りを通して、協力する大切さや難しさを実感させる。合意形成をする話し合いの場を設けていく。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ① 課題を見出す。 ② 見通しをもち、計画的に行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 今まで、課題を与えられる経験が多く、自ら課題を見出す力が乏しい。 ② 見通しをもち、計画性をもって学習を進めることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 児童の発言や学習物等をきっかけとし、児童を中心として単元を構成していく。 ② 単元の最初に、学習計画を立て、修正を加えながら、計画性をもって学習を進めていく。